

# 発酵の里推進室について

神崎町がこれまで取り組んできた発酵をキーワードにしたまちづくりを明確化し、発酵の里の推進を神崎版地方創生の大きな柱と位置付け、令和元年5月1日に発酵の里推進室を新設する。全国の自治体が様々な地域活性化に取り組む中、神崎町もオンリーワンの自治体を目指し、発酵によるまちづくりを推進する。

## 1. 目的

発酵によるまちづくりの推進

## 2. 発酵によるまちづくりのこれまでの経緯

- 平成21年から 酒蔵祭りを開催 ※H30年度で10回目の開催、来場者5.5万人
- 平成25年1月 全国発酵食品サミットを開催 ※関東で初めての開催
- 平成25年5月「発酵の里こうざき」を商標登録
- 平成25年12月「日本酒で乾杯条例」を制定 ※議員発議
- 平成27年4月29日 道の駅発酵の里こうざきオープン ※累計来場者250万人を突破

## 3. 発酵の里推進室での取り組み

- ① 発酵文化振興事業 道の駅との共催による発酵体験講座、発酵に係る視察の受け入れ
- ② 道の駅発酵の里こうざきとの連携 道の駅を核としたまちづくりの推進
- ③ 次期総合戦略及び総合計画における発酵によるまちづくりの推進
- ④ その他
  - ・ 発酵カレンダーの発行・発酵イベントの開催・発酵による移住定住の促進
  - ・ 農商業との連携・観光との連携・教育分野との連携・福祉分野との連携 など